

表面処理技術から未来を創造する

第59期・2019年3月期

第3四半期決算説明資料



株式会社 JCU

東証1部 4975

2019年2月4日(月)

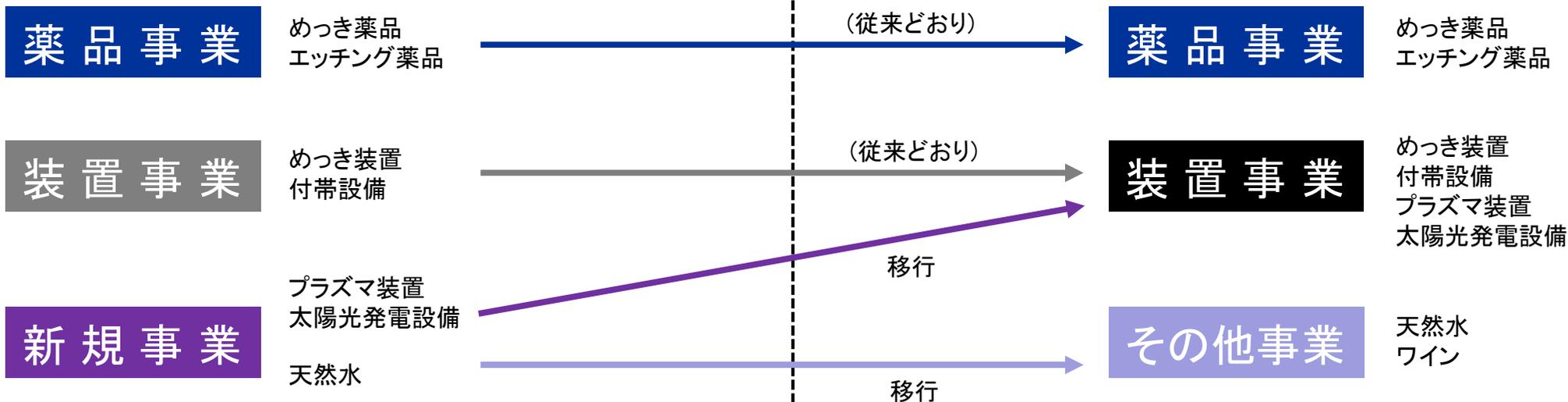


セグメント変更のお知らせ

2019年3月期1Qより、会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「薬品事業」「装置事業」「新規事業」の3事業から、「薬品事業」「装置事業」の2事業とし、報告セグメントに含まれない「その他」を追加いたしました。従来「新規事業」に含めておりました、プラズマ装置、太陽光発電設備等を「装置事業」、スパッタ技術によるカラーリング加工、飲料水及びワイン等の事業を「その他」に含めております。なお、前年同期1Q(2018年3月期1Q)以降のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

〈 2018年3月期末 〉

〈 2019年3月期1Q以降 〉



2019年3月期3Q累計 業績概況

当社決算の概況

〈3Q会計期間〉

JCU(単体) → 4月 - 12月

海外子会社 → 1月 - 9月

《電子部品分野向け》

スマートフォンの販売台数が低迷したことで、台数成長に伴う薬品の需要に一服感があり、特にハイエンドスマートフォン向けの需要が軟調に推移。一方で、中国系スマートフォンも販売台数は軟調であったものの、薬品の需要については、高機能化等を背景に一定の水準で推移したことに加え、その他の電子機器向けの需要も堅調であったことから、薬品販売は順調に推移。売上高は前年同期を上回った。

《自動車分野向け》

国内の薬品販売は緩やかな回復基調で推移。海外は、中国において拡販による顧客獲得を背景に、自動車部品用めっき薬品販売が堅調に推移したことから、薬品売上高は前年同期を上回った。

その他、装置は前期に受注を獲得した大型めっき装置の工事が順調に推移したことで、装置売上高が前年同期を大幅に上回った。

2019年3月期3Q累計 業績概況

【連結】

(単位:百万円)

	前年同期 (2018年3月期3Q累計)	2019年3月期3Q累計	対前年同期 増減率
売上高	16,335	19,549	+ 19.7 %
営業利益	5,065	5,459	+ 7.8 %
経常利益	5,063	5,521	+ 9.1 %
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	3,702	3,972	+ 7.3 %
1株当たり 四半期純利益	133円08銭	142円72銭	—

(注) 2018年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

前年同期比で、装置事業(旧新規事業含む)の売上高が大幅に増加したことで、売上高が伸長した。

為替レート

(単位:円)

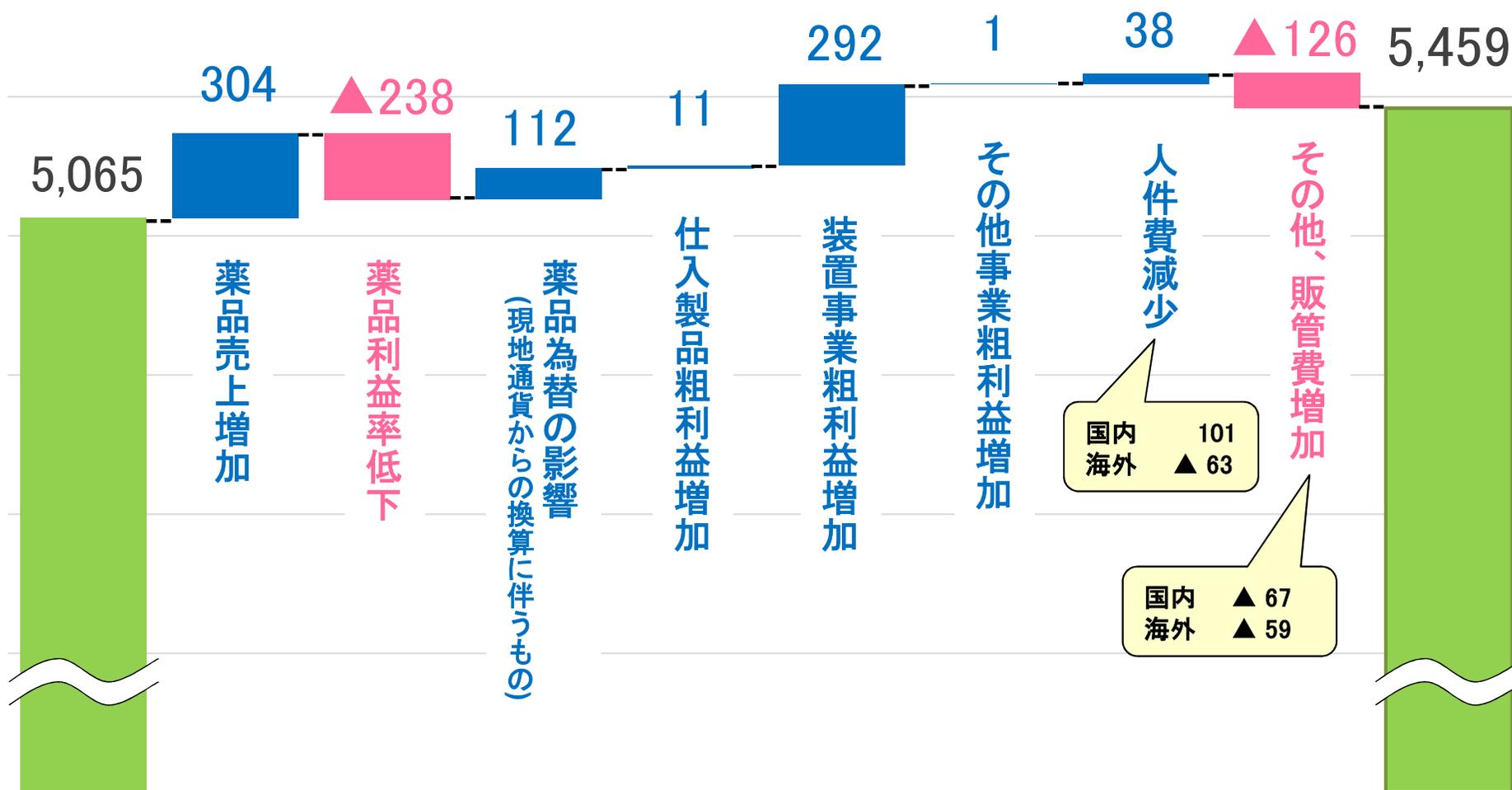
	2018年3月期				2019年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	予算	1Q	2Q	3Q
中国人民元 (C N Y)	16.57	16.39	16.47	16.62	17.05	17.05	17.09	16.85
台湾ドル (T W D)	3.66	3.67	3.67	3.69	3.70	3.70	3.68	3.67
韓国ウォン (K R W)	0.0986	0.0985	0.0984	0.0993	0.1010	0.1010	0.1011	0.1005

(注) 当社の主要な外国通貨は、中国人民元・台湾ドル・韓国ウォンであり、いずれも、期中平均レートを採用しております。

2019年3月期3Q累計 連結営業利益 増減内容

(単位:百万円)

(前年同期比)
+ 394

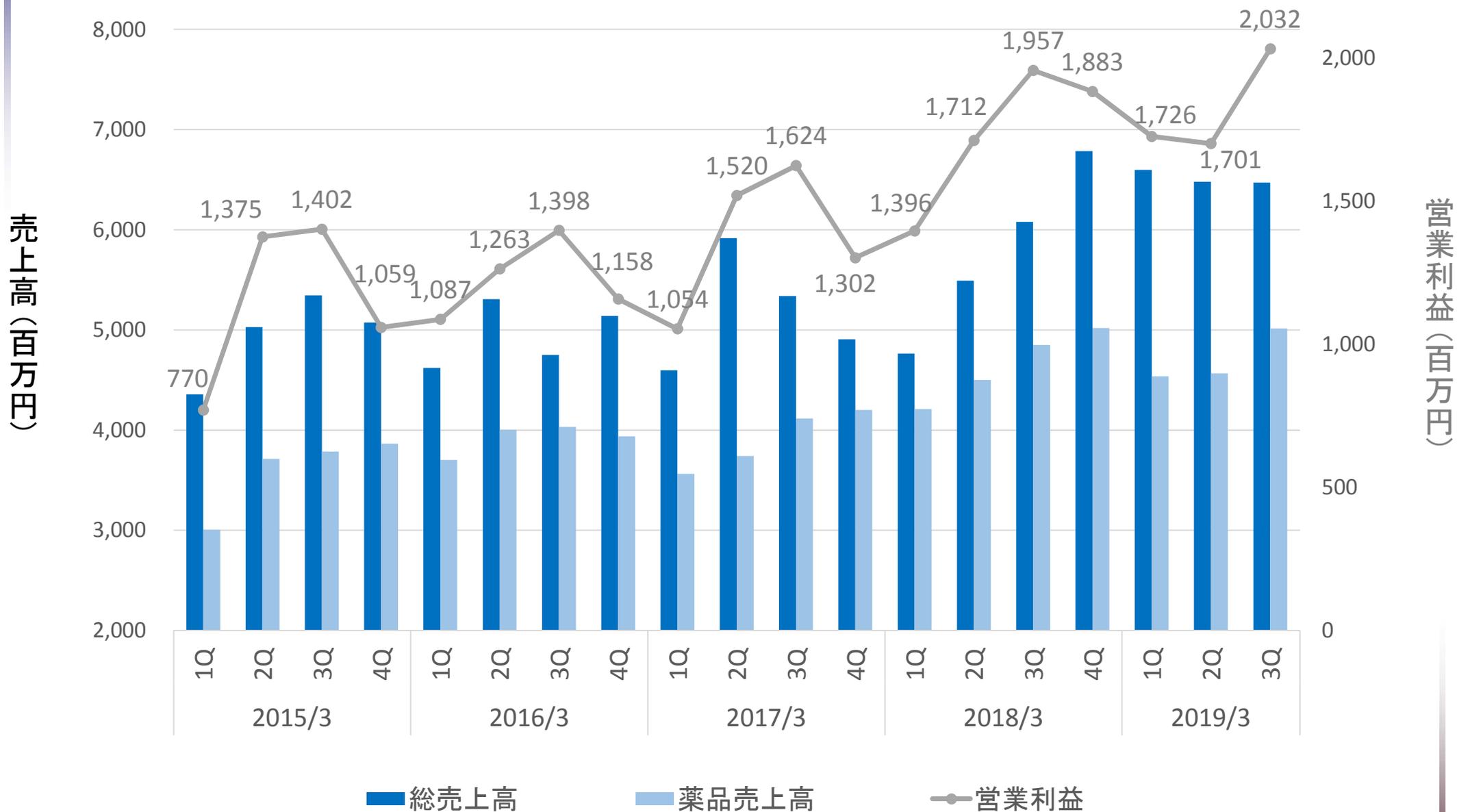


2018年3月期3Q累計
営業利益

■ 増加要因
■ 減少要因

2019年3月期3Q累計
営業利益

四半期別 連結業績の推移



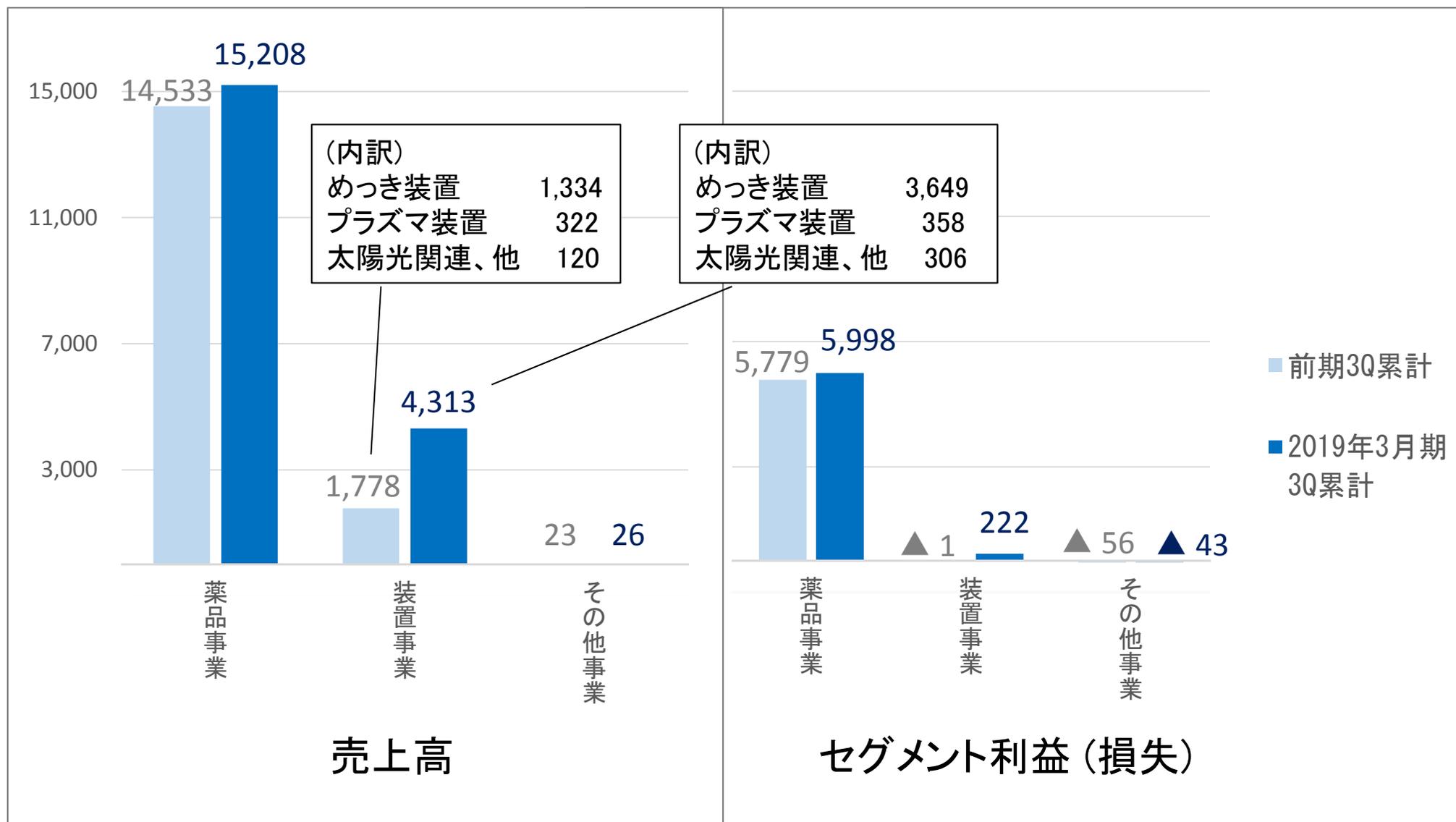
四半期別 連結業績の推移



(注) セグメント変更に伴い、2018年3月期4Q以前の旧新規事業は、便宜上、全て装置事業に合算して表示しております。

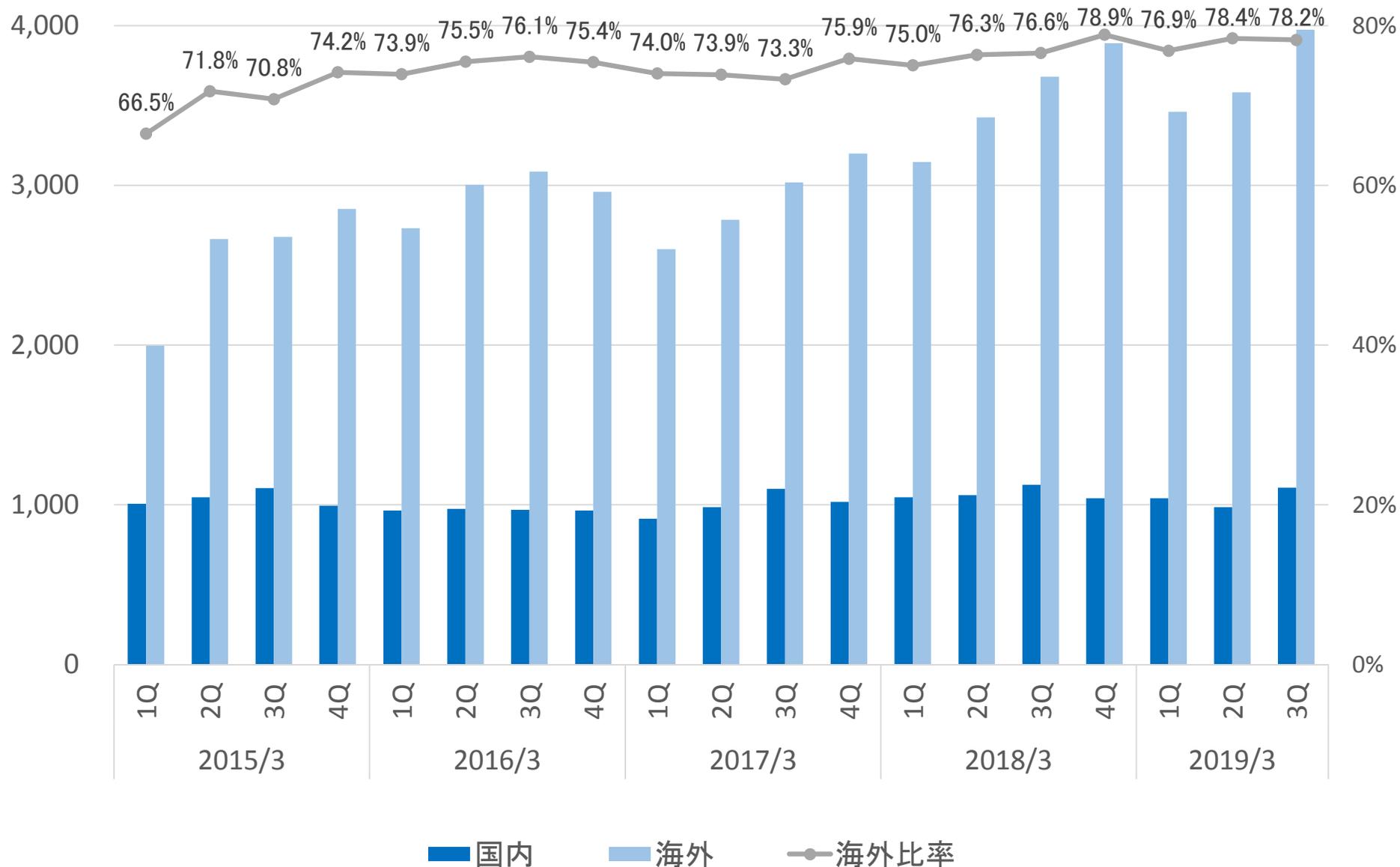
2019年3月期3Q累計 連結セグメント業績

(単位:百万円)



四半期別 国内外薬品売上高推移

(単位:百万円)



四半期別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

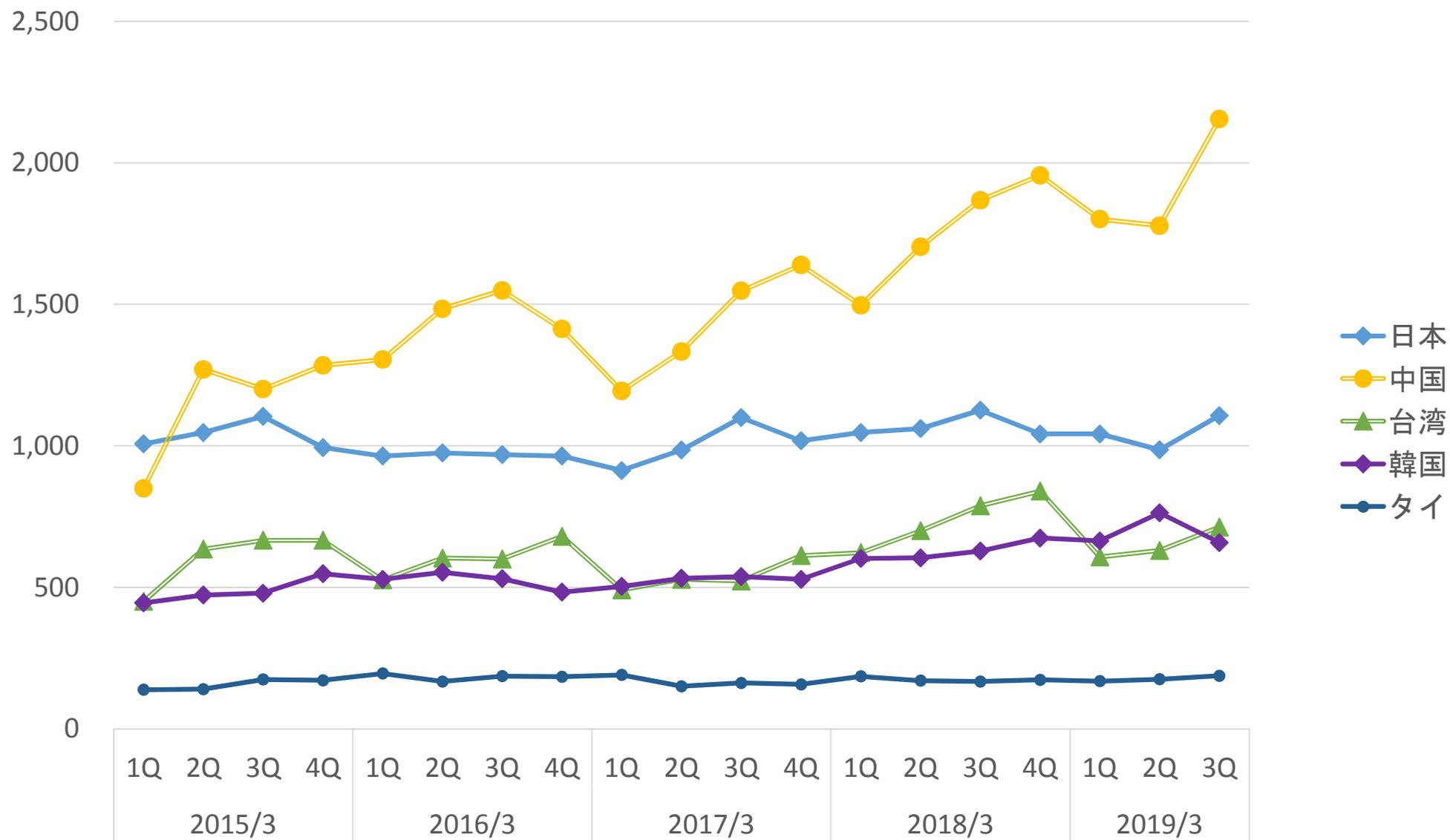
(単位:百万円)

POP (Plating on Plastics) ……プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
 ビアフィリング……プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 地域別薬品売上高の推移

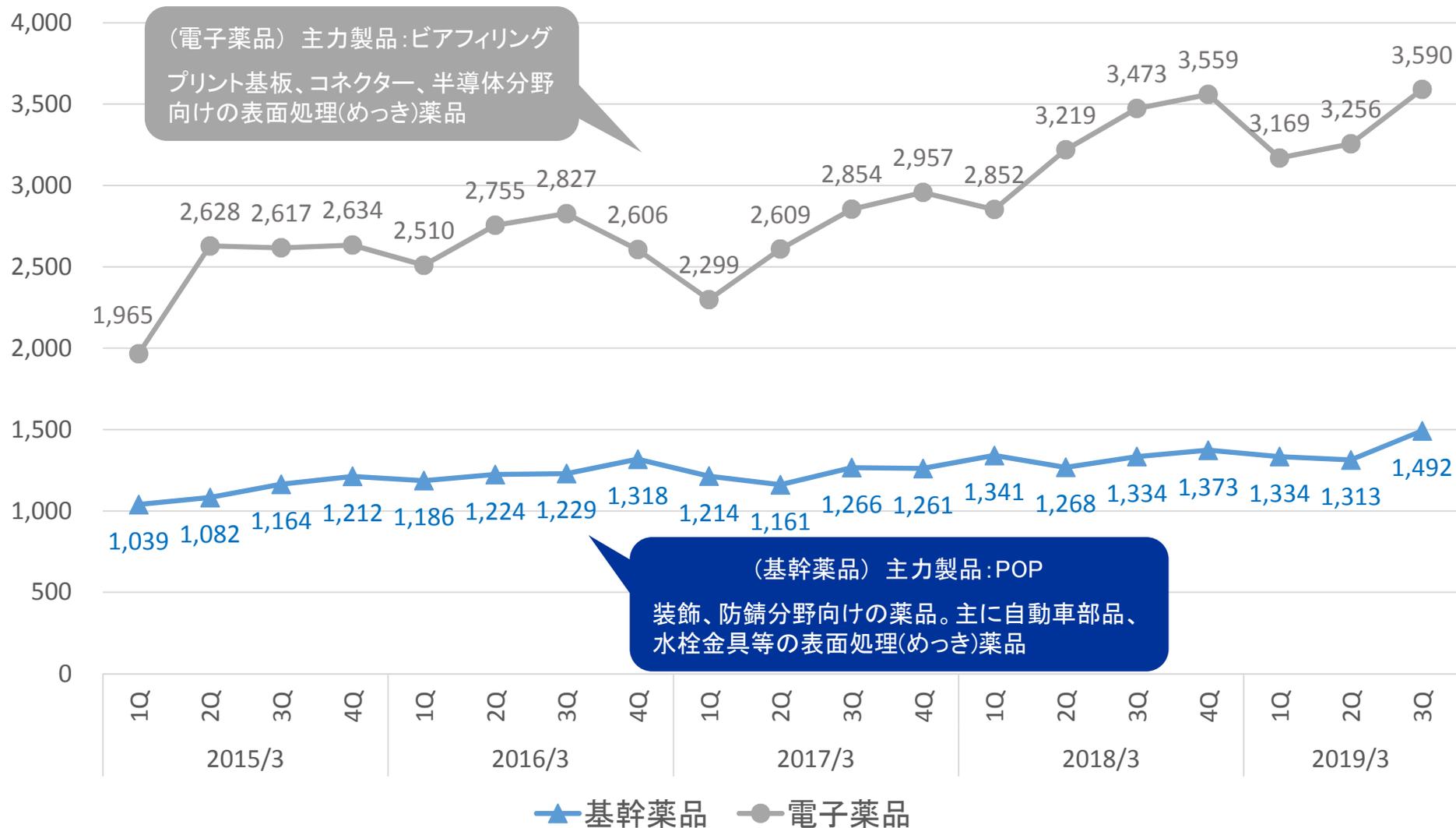
(単位:百万円)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

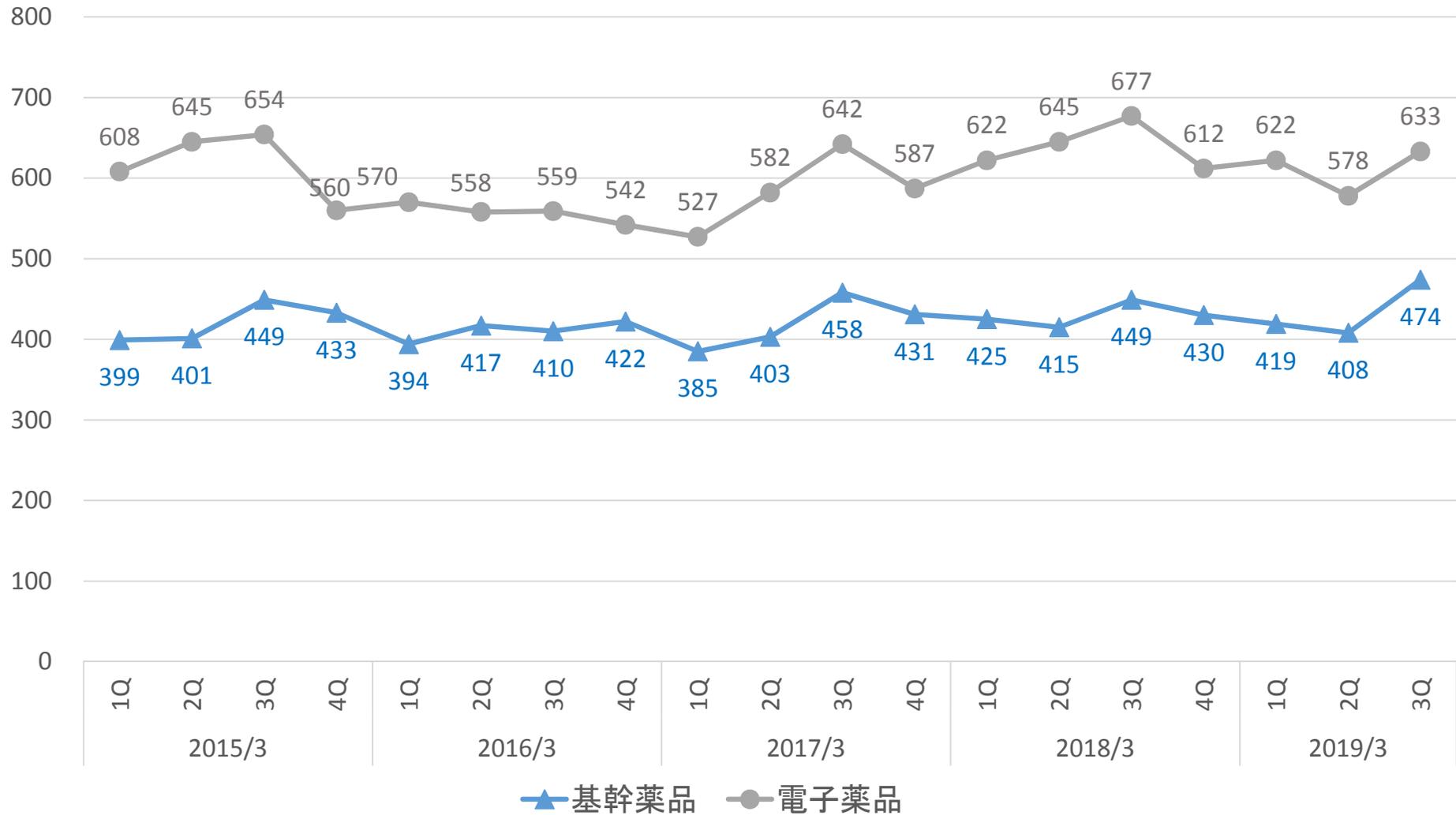
連結



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

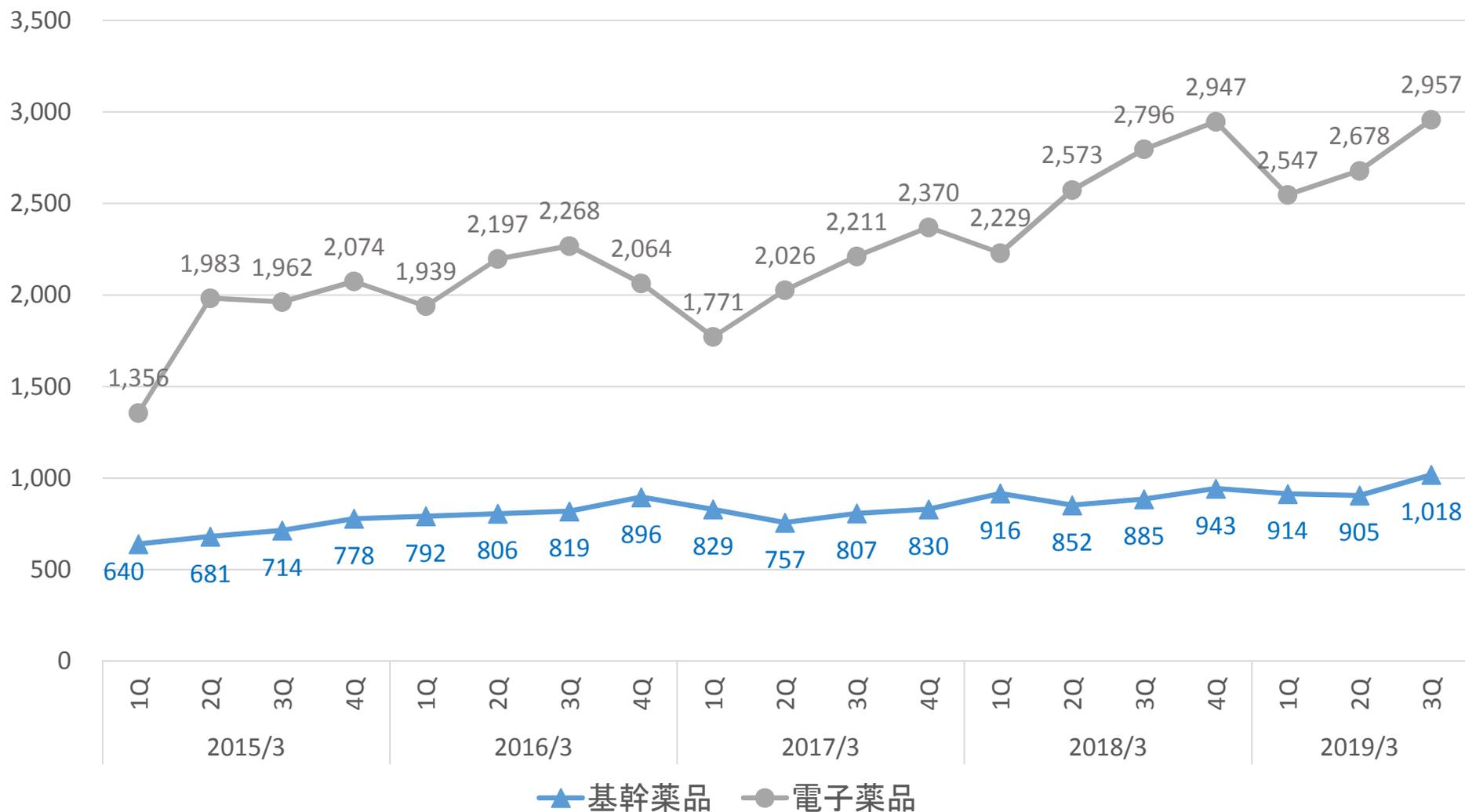
国内



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

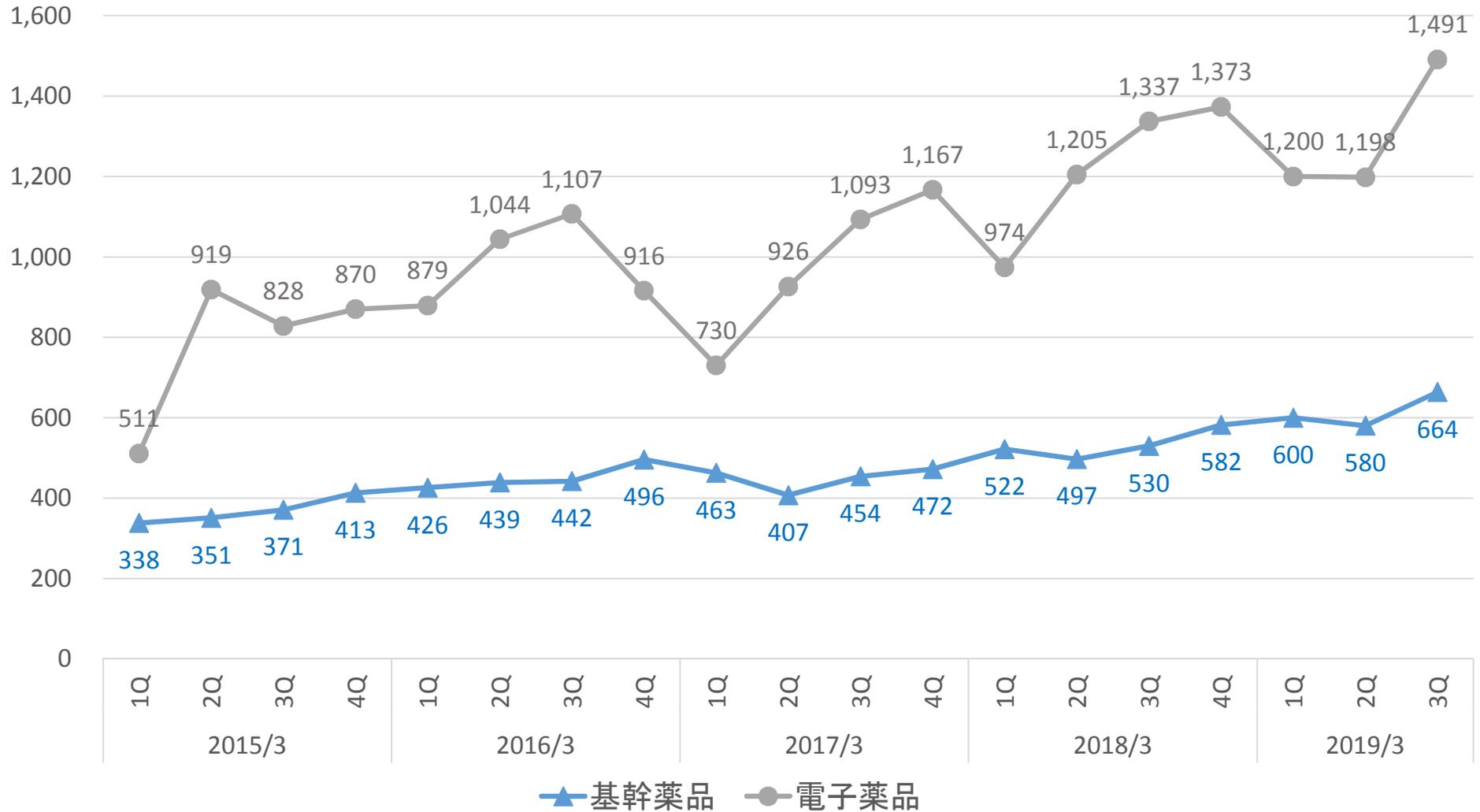
海外 (合計)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

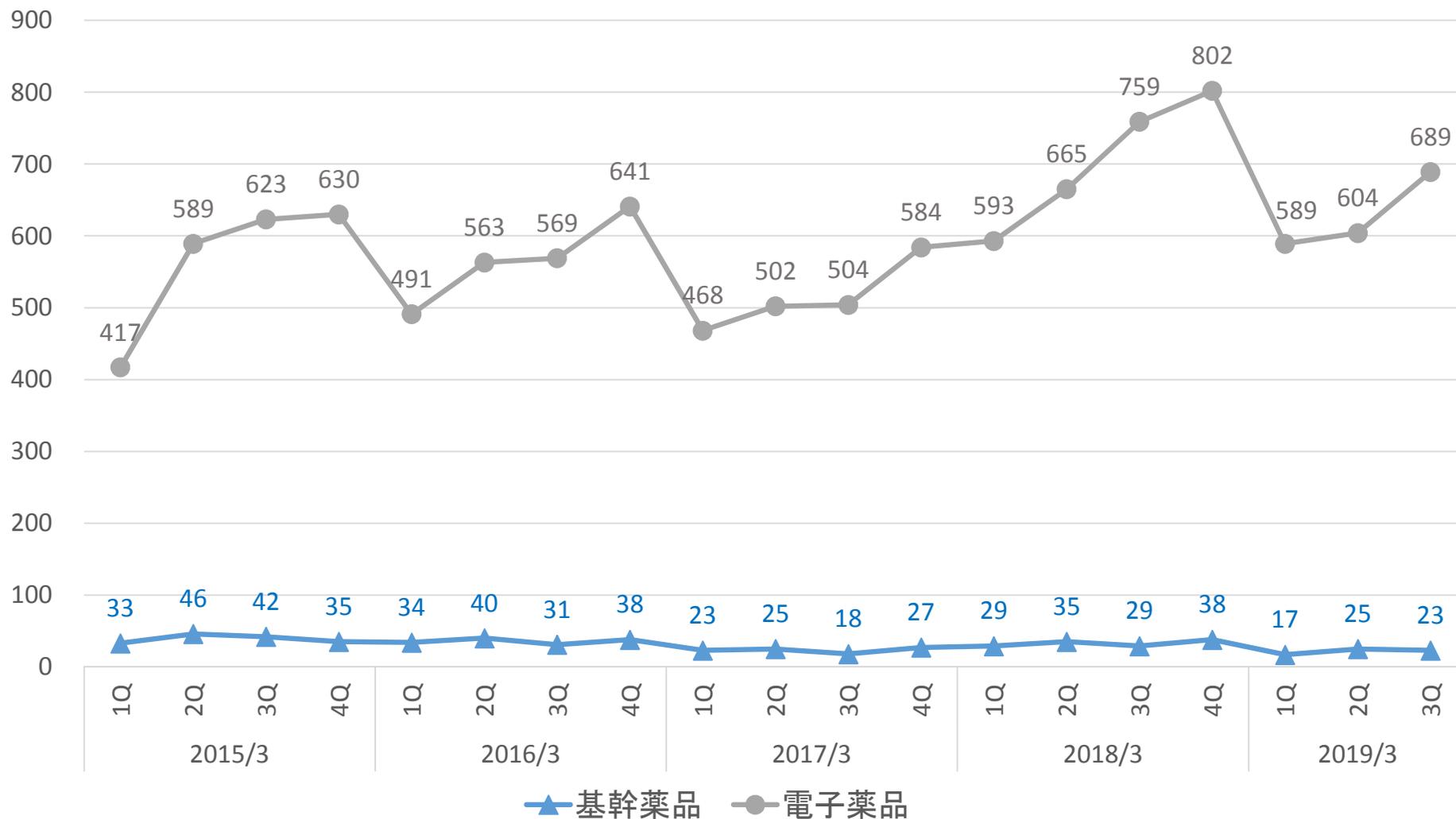
中国



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

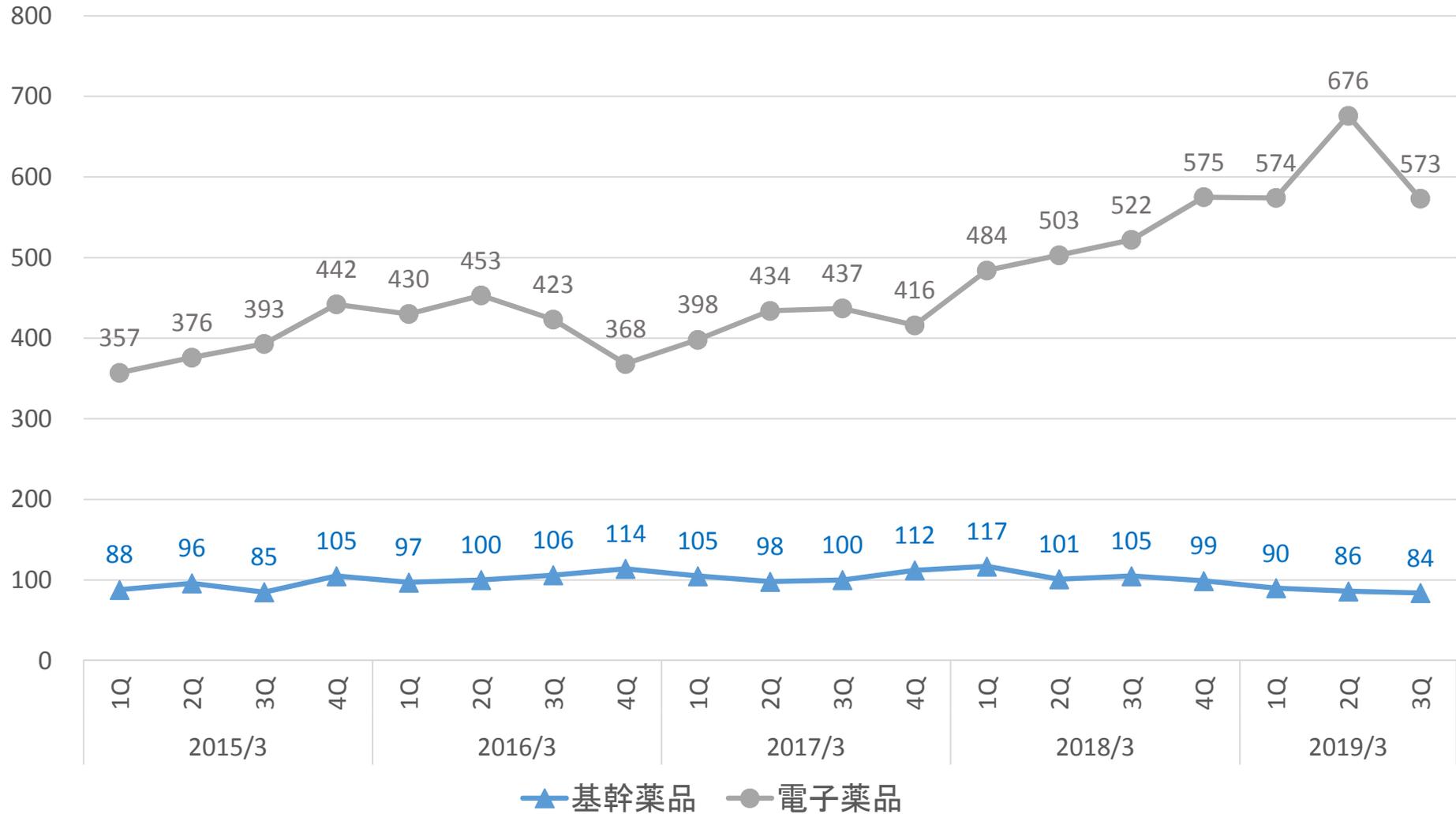
台湾



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

韓国



2019年3月期 業績予想の修正

(単位:百万円)

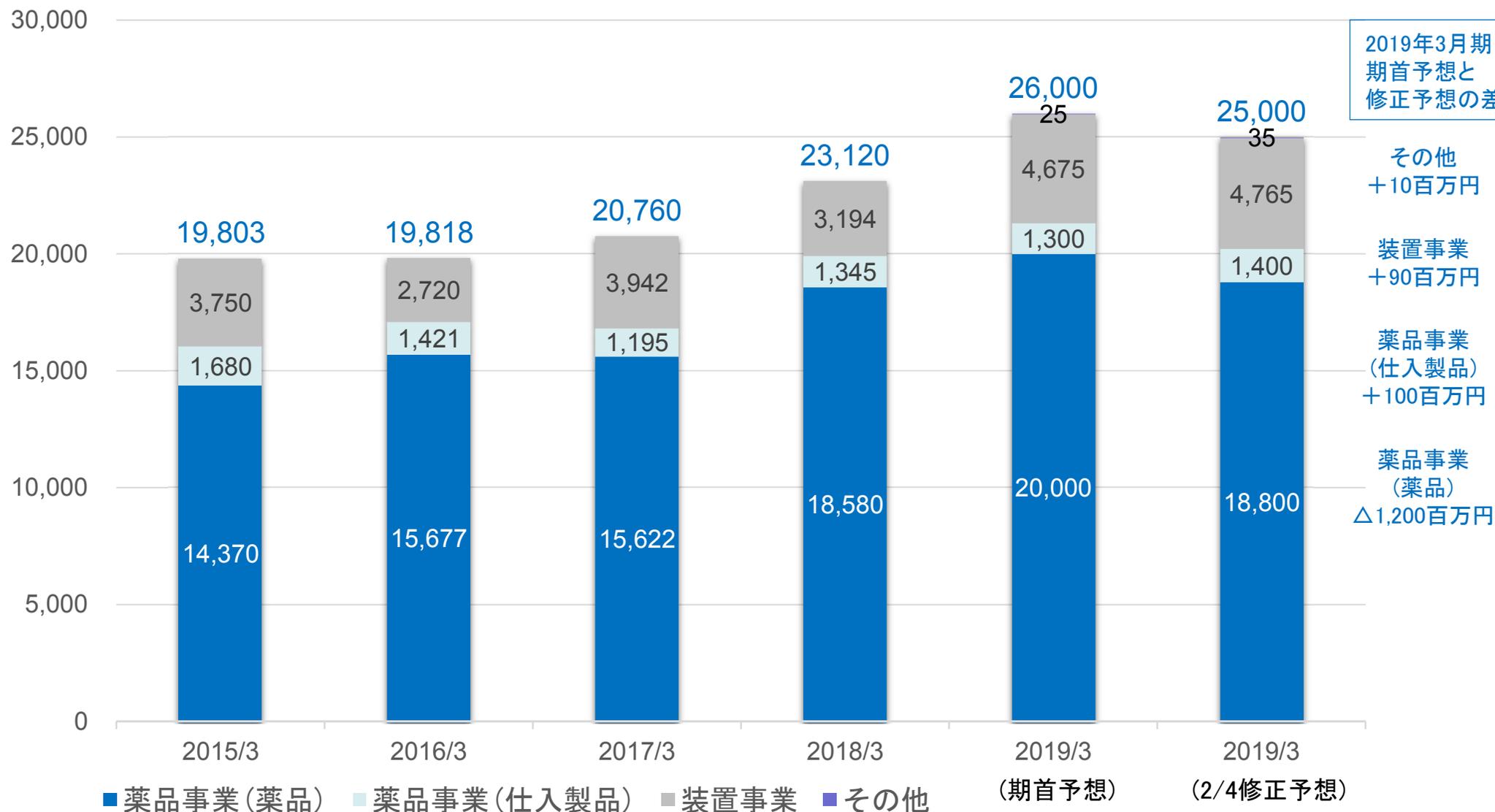
2019年3月期	3Q (実績)	通期 (期首予想)	通期 (2/4修正予想)	期首予想と 修正予想の 増減率
売上高	19,549	26,000	 25,000 (△1,000)	△ 3.8 %
営業利益	5,459	7,300	 6,950 (△350)	△ 4.8 %
経常利益	5,521	7,300	 7,000 (△300)	△ 4.1 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,972	5,200	 4,700 (△500)	△ 9.6 %
1株当たり 当期純利益	142円72銭	186円84銭	168円83銭	—

業績予想修正の要因

- ◆ スマートフォンの販売低迷の影響から、関連する電子部品(主に基板)を製造する顧客工場の稼動が低迷。
- ◆ 特に、中国・台湾地域の顧客において基板の生産量が減少しているため、当社の海外子会社の薬品販売も減少する見込み。
- ◆ 当期純利益の減少が大きい要因として、4Qに従業員退職金制度の変更(確定拠出年金制度の導入)に伴う、特別損失を約360百万円計上予定のため。

年度別製品構成別売上高推移（予想）

（単位：百万円）



（注）セグメント変更に伴い、2018年3月期以前の旧新規事業は、便宜上、全て装置事業に合算して表示しております。

配当予想

		2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
1株当たり配当金	中間	15円	17.5円	22.5円 (5円増配)
	期末	17.5円	25円 (内:記念配当 2.5円)	22.5円
	年間	32.5円	42.5円 (内:記念配当 2.5円)	45円 (2.5円増配)

(注) 2017年4月1日付および2018年4月1日付で、いずれも普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算定しております。

当社は、持続的な成長を達成するため手元流動性を確保し、安定した財務基盤を維持しつつ、成長投資を継続してまいります。配当は、安定増配基調継続を目指し、配当性向25%目安とすることを基本方針としております。

自己株式の取得（2019年2月4日発表）

取得対象株式の種類	普通株式
取得し得る株式の総数	1,050,000 株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.77%）
株式の取得価額の総額	1,500百万円（上限）
取得期間	2019年2月5日～2019年5月31日
取得方法	東京証券取引所における市場買付

(参考) 2019年1月31時点

発行済株式総数(自己株式を除く)： 27,842,470株

自己株式： 53株



〈参考資料〉

- 会社概要
- 主な商流
- 主な製品

会社概要

創業	:	1957年 12月
設立	:	1968年 4月 1日 (設立50周年)
資本金	:	12億672万円
年商	:	単体 140億円 連結 231億円 (2018年3月期末)
本社所在地	:	東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 16階
業務内容	:	表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売
代表者	:	代表取締役会長兼CEO 小澤 恵二 代表取締役社長兼COO 木村 昌志
従業員数	:	単体 264名 連結 559名 (2018年3月末現在)

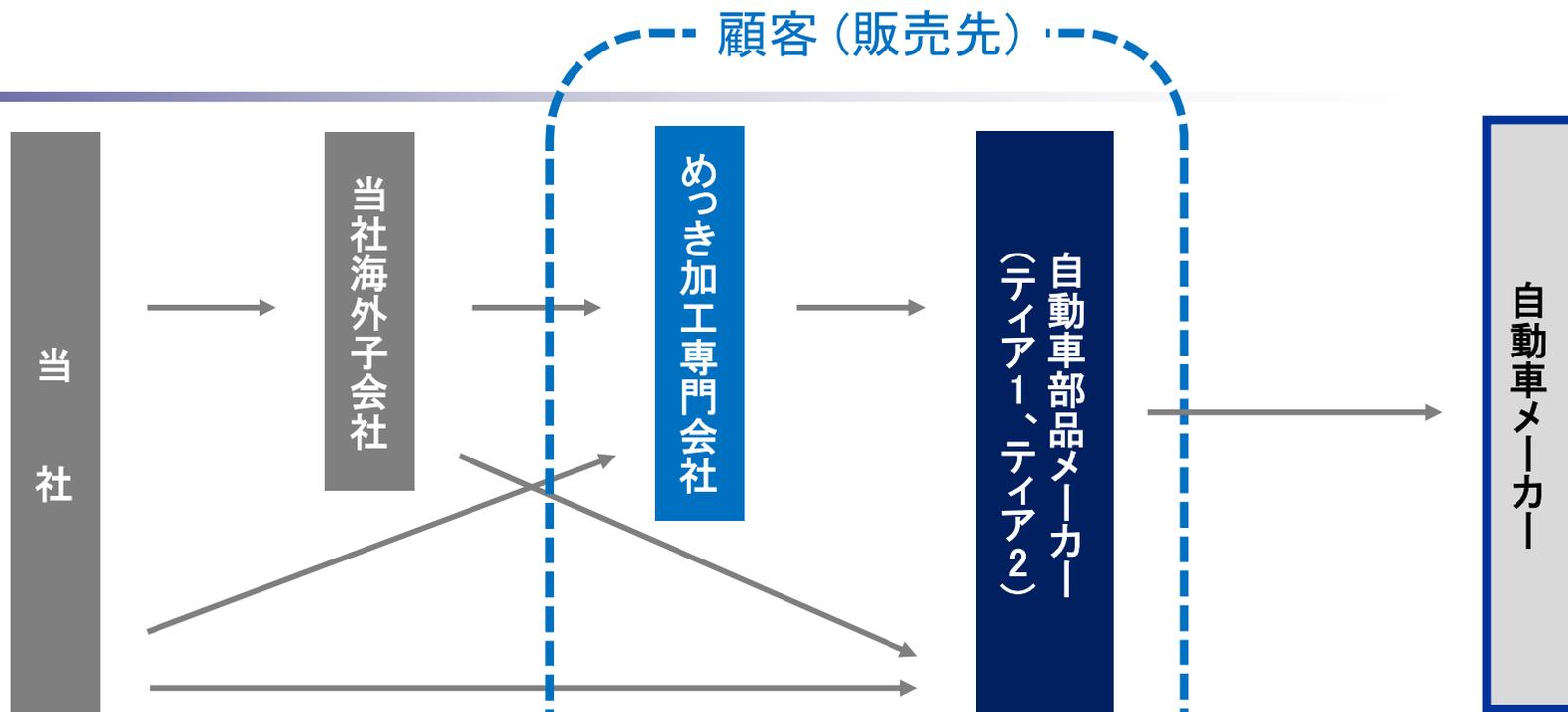
ISO認証取得

ISO9001 生産本部・本社営業部・総合研究所 JCQA-0281

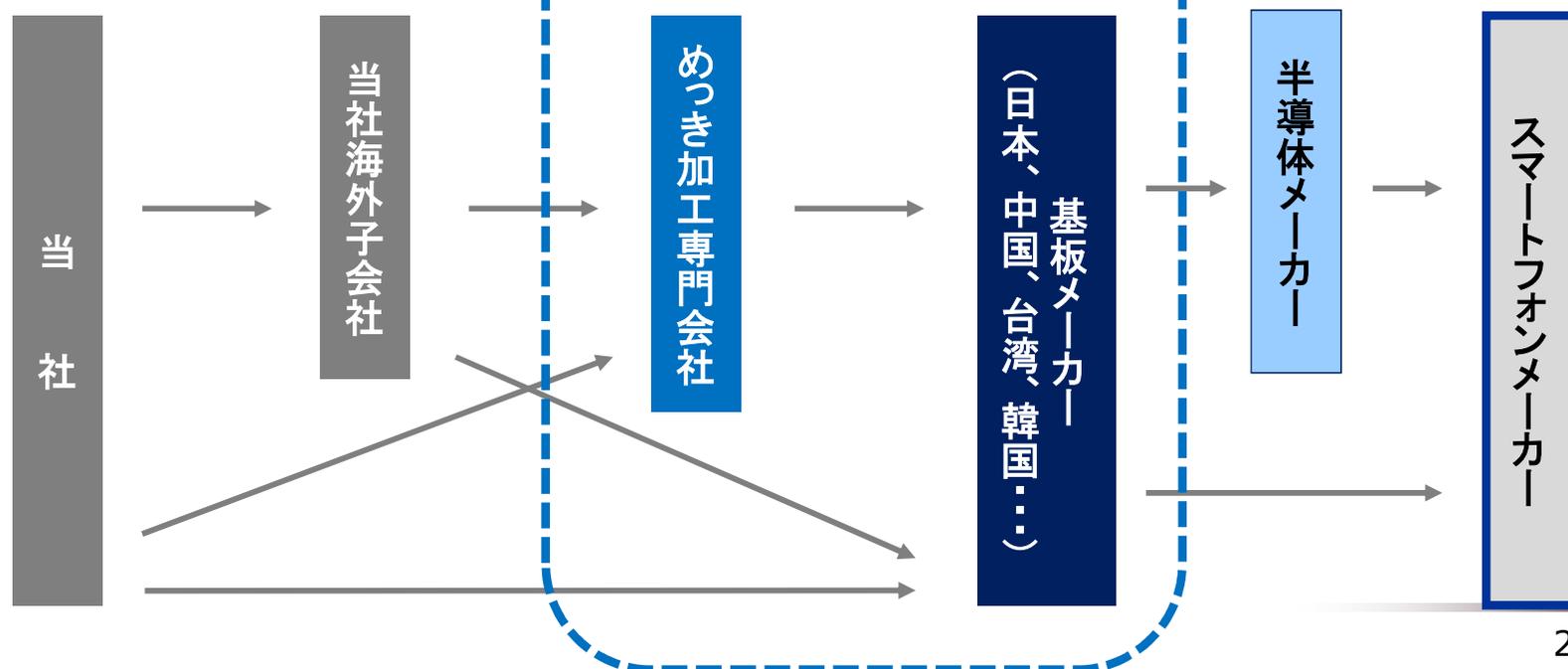
ISO14001 生産本部・総合研究所 JCQA-E-0143

主な商流

自動車



スマートフォン



主な製品

薬品事業	装飾・防錆分野向け (基幹薬品)	自動車部品(フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等) 水栓金具(給水機器、シャワーヘッド、排水栓等) 建築部品(ボルト、ナット等)
	電子分野向け (電子薬品)	プリント配線板(両面板、多層板、ビルドアップ配線板、パッケージ基板等) 電子部品(リードフレーム、チップ部品、コネクタ等) 半導体(シリコンウエハー)

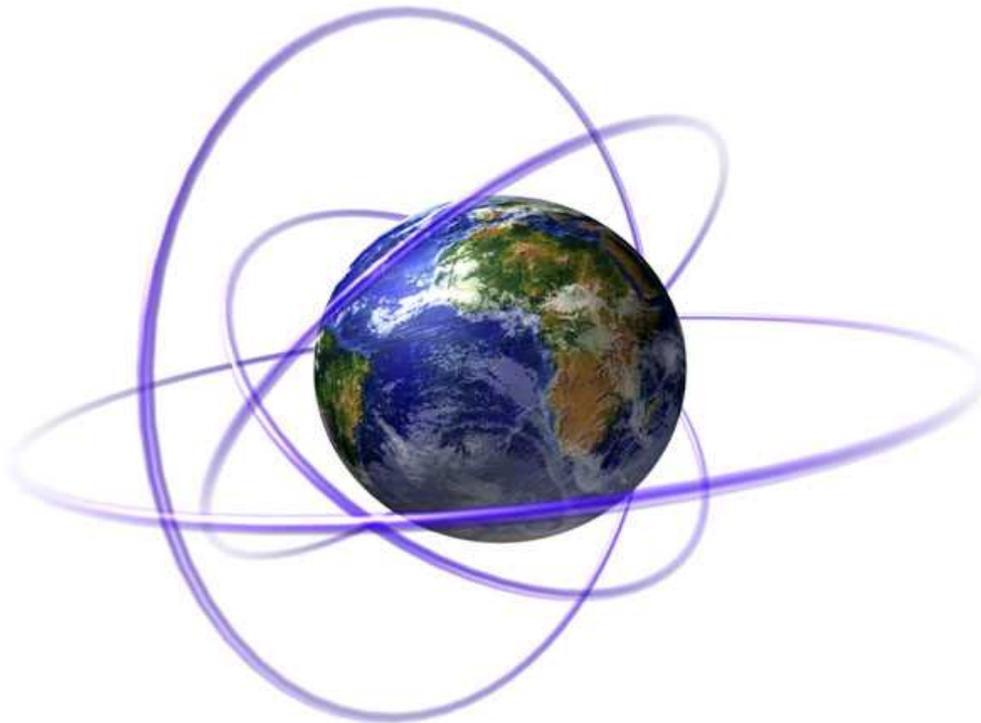
装置事業	全自動表面処理装置	素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置
	付帯機器	表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器の製造販売
	自動分析管理装置	めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置
	プラズマ装置	プリント配線板のめっき前処理用等の洗浄処理装置
	太陽光発電装置	太陽光発電装置(パネル)の設置・施工

事業その他	天然水	当社ブランド「富士桜長命水」の販売
	ワイン	ワインおよびブドウ苗木の生産、販売

旧
新規
事業

(注) 2019年3月期1Qより、会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「薬品事業」「装置事業」「新規事業」の3事業から、「薬品事業」「装置事業」の2事業とし、報告セグメントに含まれない「その他」を追加いたしました。従来「新規事業」に含めておりました、プラズマ装置、太陽光発電装置等を「装置事業」、スパッタ技術によるカラーリング加工、飲料水及びワイン等の事業を「その他」に含めております。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ:
<https://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先: 経営戦略室
TEL: 03-6895-7004